

令和2年度 東海ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

1. 趣旨

内閣府、地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

2. テーマ

「グローバル精神をローカルにいかす～多様なリーダーシップで、まちを輝かせる～」

グローバル化の進展により、国境を越えて人や物の移動が活発になったのと同時に、テクノロジーの発展により、オンラインで容易に海外とつながりを持つ時代になりました。これからは、誰もが国際的な視野を持ち、それを活用することが要求されるのではないのでしょうか。

国際的な視野とは単に海外に目を向けることではありません。身近な地域社会においても、多様な価値観や考え方を持つ人々の共生社会を目指すには、異なる意見を認識し柔軟に対応するスキルと、それぞれがリーダーシップを発揮して人々をまとめていく力が必要とされます。国際的な視野を持った人材は、こういった場で必ず活躍できるはずです。

今回は、まちづくりに注目し、「県外・海外で培った経験を故郷のまちづくりにどのようにいかしたか（基調講演）」、「県外から移住してきたアーティストが地域に根差し、そのまちの文化をつくるまで（分科会 A）」、「モラルジレンマから学ぶ対話の大切さ（分科会 B）」、「課題解決のための持続可能なソーシャルビジネス（分科会 C）」を学びます。4名の講師の方々のお話から、多様な価値観ならではの可能性、様々なリーダーシップのあり方を、自らの経験と重ねて学んでいただきたいと思います。

3. 主催

内閣府
日本青年国際交流機構
一般財団法人 青少年国際交流推進センター
静岡県青年国際交流機構

4. 主管

令和2年度「東海ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

5. 期日

令和2年10月4日（日）

6. 会場

オンライン（Web会議システム Zoom を利用）

7. 参加対象者

内閣府、地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者
国際交流に関心のある方、まちづくりに関心のある方

8. 問合せ先

東海ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長 鈴木 亜里沙
E-Mail shizuoka.iyeo@gmail.com

9. 参加費

1,000 円

※内閣府国際交流事業に参加した方で、IYEO に平成 29 年度、30 年度、令和元年度に入会金／事後活動研修費を納めた方は、ブロック大会と全国大会の参加費がそれぞれ一回ずつ無料となります。

10. 参加申込み

締切：9月26日（土）

申込みフォームにアクセスしてお申し込みください。

【申込みフォーム】

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01mgs31160i63.html>

11. 日程

10月2日（金）

11：00～12：00 国際交流事業関係者連絡会議
（東海ブロック内県御担当者様向け・オンライン開催）

10月4日（日）

11：00～12：00 国際交流事業関係者連絡会議
（東海ブロック内 IYEO 会長向け・オンライン開催）

12：40～13：00 受付

13：00～13：20 開会式

13：20～14：20 基調講演

「魅力的なまちは自分たちの手でこそつくる～熱海のまちづくりの実践から～」

講師：市来 広一郎氏

（株式会社 machimori 代表取締役／NPO 法人 atamista 代表理事）

14：20～14：40 休憩・受付

14：40～16：00 分科会（A・B・C）

－A「自分の居場所をデザインする～アート×まち×ビジネスのちょうど良い加減～」

講師：戸井田 雄氏（混流温泉株式会社代表）

－B「問題解決のための対話型アプローチ～地位・立場を超えて分かり合う～」

講師：齋藤 佳子氏（御前崎市議会議員）

－C「ソーシャルビジネス入門～“社会課題に向き合う”を仕事にするとはい～」

講師：白木 邦貞氏（株式会社ドリームエージェント代表）

16：00～16：20 休憩・受付

16：20～16：35 東海ブロック活動報告

16：35～16：50 閉会式

17：00～18：00 懇親会（自由参加）

12. 基調講演

テーマ：「魅力的なまちは自分たちの手でこそつくる～熱海のまちづくりの実践から～」

内容：日本人なら誰もが知っている温泉地、熱海ですが、約 50 年前をピークに活気が失われてきておりました。「そんな熱海をどうにかしたい」と地元に戻ってまちづくりを始めた市来広一郎氏に御講演いただき、これまでの活動での学びとこれからのまちづくりへの想いを伺います。

旅や地元を離れた経験がまちづくりにどう影響しているのか。熱海に関わる多様な人々と協働することがまちの活性化にどのようにつながるのか。これらは、内閣府国際交流事業で得られる、国際的な視野や多様性を受け入れ尊重す

る精神、多様なリーダーシップ像を、事後活動でどのように活用していけるのかのヒントになるはずです。

身近な地域に思いを馳せながら、自分はどのようにまちと向き合っているのか、どんな未来にしたいのか、そのために何ができるのか。そんなことを考えるきっかけとなるお話をさせていただきます。

講師：^{いちき こういちろう}市来 広一郎氏

(株式会社 machimori 代表取締役/NPO 法人 atamista 代表理事)

1979年静岡県熱海市生まれ、熱海市育ち。東京都立大学大学院理学研究科(物理学)修了後、アジア・ヨーロッパを3か月間、一人で放浪。その後、IBM ビジネスコンサルティングサービス(現日本IBM)に勤務。

2007年に熱海にUターンし、熱海市観光協会や熱海市などと協力しながら、ゼロから地域づくりを始める。NPO 法人 atamista を設立し、「熱海温泉玉手箱(オンたま)」や「あたまマルシェ」などを開催。株式会社 machimori を設立し、リノベーションまちづくりの手法でCAFÉ RoCA、guest house MARUYA を運営。「リノベーションスクール@熱海」や「ATAMI2030 会議」なども企画運営している。

13. 分科会

A:「自分の居場所をデザインする～アート×まち×ビジネスのちょうど良い加減～」

内容：アーティストとして日本各地で生活しながら制作を行ってきた経験から、どのように既存のコミュニティに溶け込み、自分の活動を理解してもらってきたかを伺います。フィールドで得た経験を基にした、多様な視点の大切さや、価値観の違う人と共に企画に取り組む際に必要なコミュニケーションスキル等のお話を通し、参加者が自分の活動の一步を踏み出すきっかけづくりとなる場を、参加者と一緒に作ります。(定員：30名)

講師：^{といだ ゆう}戸井田 雄氏

神奈川県横須賀市出身、武蔵野美術大学大学院修了。現代美術の作家として日本各地で活動を行った後、アートと地域に関心を持ち、2013年に熱海に移住。株式会社 machimori の取締役としてまちづくりに関わりながら、地域で持続可能なアートのあり方を模索し、混流温泉株式会社の代表としてシェア・アトリエとホステルの経営や、アートプロジェクトの企画運営やスタートアップ支援も行っている。

B:「問題解決のための対話型アプローチ～地位・立場を超えて分かり合う～」

内容：一人の市民が市議会議員として活動することになった経緯や想いを伺い、市民や議員などいろいろな立場からまちづくりに取り組む意義を考えます。多様な価値観や考えを持った人々とまちづくりを行う中では、必ず意見が対立することがあります。そのような時、対話を続けることでより多くの人々が少しでも納得し、時には考えを変えながら、課題に取り組んでいくことが大切なのではないでしょうか。OST (Open Space Technology) のワークショップ形式で自由に意見交換を行いながら、対話の意義と平和的解決を考えます。(定員：30名)

講師：^{さいとう けいこ}齋藤 佳子氏

第2回「世界青年の船」事業(1989)参加青年。第11回「世界青年の船」事業(1998)サブナショナルリーダー。青年海外協力隊としてタンザニアで3年間活動。Go Vote Omaezaki 実行委員会コアメンバー。御前崎市議会議員。

C:「ソーシャルビジネス入門～“社会課題に向き合う”を仕事にするとは～」

内容：自分が本当に痛みを感じる社会課題を”仕事”にしていこうかと考えている方向けのセミナー&ワークショップです。貧困や環境問題など世の中には公的な枠組みだけではとても解決できない様々な社会課題があります。そんな社会課題を自分ごととして NPO 法人や一般社団法人などを立ち上げ仕事として取り組もうという方もたくさんいらっしゃいます。しかし、時には課題が深すぎてお金や時間など多くのものを犠牲にしても壁にぶち当たることが多々あります。ソーシャルビジネスでは、通常のビジネスとは違い受益者からお金が十分にもらえない状況の中、様々なステークホルダーを巻き込み持続可能な仕組みを構築することが課題に立ち向かい続ける非常に重要な鍵になります。そんな連立方程式を皆さんと一緒に考える時間にしませんか。青少年のキャリア教育に取り組むケースなどを学びながらみなさんとの対話やワークショップを通して学び合います。(定員：15名)

講師：白木 邦貞氏

第 18 回「世界青年の船」事業 (2005) 参加青年。日本韓国親善交流事業副団長 (2014)、世界青年の船サブナショナルリーダー (2017) も務める。現在、株式会社ドリームエージェントを設立し、社会課題に立ち向かうソーシャルビジネスのスタートアップ支援を多数行う。

14. 実行委員会

実行委員長	鈴木 亜里沙	2012 年度「東南アジア青年の船」事業	(長泉町)
副実行委員長	鈴木 歩美	2011 年度「東南アジア青年の船」事業	(沼津市)
事務局 長	山口 貴美	2016 年度「SWY リーダーズ」事業	(静岡市)
会 計	青木 奈美	2014 年度「東南アジア青年の船」事業	(裾野市)
委 員	齋藤 佳子	1989 年度「世界青年の船」事業	(御前崎市)
委 員	安永 太地	2013 年度「グローバルリーダー育成」事業	(袋井市)